

錦織監督

映画の現場から



●○○● 52

島根の奥深さこそ財産

島根の歴史は古い。今更何を言うかと思われるかもしれないが、出雲、石見、隠岐のそれぞれに深く長い歴史がある。それを感じさせる伝統や風習、裏付けする言い伝えや伝承が風土と相まって、そこそこに点在している。

映画「渾身KONISHI IN」に感動し、九州での宣伝にご協力いただいた会社経営者のお誘いで先月、博多の祇園山笠に行った。

7月1日から始まった祭りも15日早朝に佳境を迎え、追い山で終わりを告げる。その追い山の開始直前、お祭りの起源のアナウンスが流れた。「八雲立つ出雲八重垣妻ごみに……」と、スサノオが日本で初めて詠んだとされる和歌が披露され、出雲の神である祇園神様(スサノオ)に捧げる神事だと説明された。

京都の祇園祭も同じで時を経て、所違えど出雲の神事が残り、熱く伝わっている。誇らしく、うれしくな

各地で脈打つ伝統、風習

る。

一番山笠の恵比寿流の山が、勇壮なかけ声と共に目前を通り過ぎた。かけ声は、古典相撲で正三大関を柱に担いで練り歩いた時と全く同じ。まさに、つながっていると感じた。山笠のためなら仕事を辞めてでも参加する者もいる、という心意気も隠岐相撲と同じだった。多くの博多っ子が「渾

身」に歓喜してくれたと聞いた。こんなうれしいことはない。

お祭りを綿々と受け継いでいく男たちと、それを支える女たち。そこには損得勘定などなく、地域の誇りをかけた大一番にかけた心だけが存在している。それは、あらゆるお祭りに共通している。

EXILEのUSAさん



石見神楽温泉津舞子連中の舞。USAさんも見入った
大田市温泉津町温泉津、龍御前神社

が、ダンスアースプロジェクトのスタートの地に島根を選んだのは偶然ではない。出雲の阿国はストリートダンサーの先駆けであり、現代のあらゆるエンターテインメントの始祖だということを知れば必然だったのだ。

ストリートダンスからダンサーとしてのキャリアをスタートさせたUSAさん。出雲市大社町にある阿国の墓前で手を合わせた後、松江市美保関町では音曲の神・恵比寿様の総本社・美保神社にてダンスを奉納した。

さらに、大田市温泉津町では石見神楽を地元の方と一緒に踊った。地元の方々の祭りへの想いと心意気を肌で感じたUSAさんは、理屈抜きに神楽や島根の祭りの奥深さを感じてくれたようだ。「世界中の人をダンスで幸せにしたい」という願いを、これからも応援していきたい。

縁あって9月8日、境港市で開かれる「第1回増谷鱗記念・海とみなとの映画祭」に司葉子さんたちと出演させていただく。ぜひご来場を!

(錦織良成・映画監督)

第4金曜掲載